

第五十四回お七夜献書展



募集要項・出品規定

(1) 作品の受付について

・先の住所へ送付または持参して下さい。

〒五一四〇一四 三重県津市一身田町二八一九番地

高田本山宗務院教学課 お七夜献書展 係

・提出期限 令和六年十一月二十九日(金)

(2) 展示場所について

・高田本山境内東奥の御対面所から御影堂へかけての廊下に、令和七年一月九日～十六日のお七夜期間中に展示します。

(3) 出品方法について

・お七夜書道奉賛作品展応募書(応募書)を幼児から学年順に記載して提出してください。

・作品の左隅に出品票を貼付けてください。出品票には

① 学校名または書道会名 ② 学年 ③ 氏名 を明記してください。

・応募書・出品票はこちらで用意しておりますので、必要数をお申し出下さい。

・課題以外の作品は受け付けません。また、作品は原則返却いたしません。

(4) 用紙・書体について

・幼児・小学生…書道半紙(楷書)

・中学生…細長書初め用紙 八ツ切 682mm×171mm(楷書または行書)

・高校生・一般…画仙紙半切 1350mm×350mm(要表装・仮巻可・書体自由)

(5) 出品料について

・一点 三百円(先生がとりまとめていただく場合は二百五十円お納め下さい)

(6) 賞について

・審査の結果、高田本山賞(各学年一点)・宗務総長賞(若干)・総務賞(若干)・中日新聞社賞

特選・入選・一身田商工振興会賞・高田会館賞を贈ります。(高校生・一般は審査対象外)

(7) 表彰式について

・お七夜期間中(令和七年一月九日～十六日)に行われる「お七夜子ども大会」にて表彰いたします。ただし感染症対策等の為、変更する場合があります。

課題解説

みち…ここでは、ほとけさまをたいせつにする生活をいいます。

ほう…ほとけさまのおしえのことです。

大行…南無阿弥陀佛のお念佛を申すことです。

帰命…ほとけさまにおまかせすることです。

平等覚…あみださまの別のお呼び名です。

不退の位…西方極楽浄土に必ずうまれることが

約束された位です。

本願他力…生きとし生けるものを救わずにはおれない

あみださまのつよい願いです。

広施功德宝…あみださまは、功德というたからものをわけあたえます。

不可思議功德…言葉もおよばない功德のことです。

転悪成徳正智…悪を転じて徳と成す、ほとけさまの智慧のことです。

願以此功德 願はくはこの功德をもって

平等施一切 平等に一切に施し

同発菩提心 同じく菩提心をおこして

往生安楽国 お浄土に往生せん

南無阿弥陀佛をとなうれば お念佛を申すと

十方無量の諸佛は ほとけとなられた大勢のご先祖も

百重千重圍繞して 私を幾重にも取り囲んで

喜びまもりたもうなり 喜び護ってくださいます。

第五十四回お七夜献書展課題

幼児 みち 高校・一般

小学一年生 ほう (ア) 願以此功德 平等施一切

小学二年生 大行 同発菩提心 往生安楽国

小学三年生 帰命

小学四年生 平等覚 (イ) 南無阿弥陀佛をとなうれば

小学五年生 不退の位 十方無量の諸佛は

小学六年生 本願他力 百重千重圍繞して

中学一年生 広施功德宝 喜びまもりたもうなり

中学二年生 不可思議功德

中学三年生 転悪成徳正智

令和六年九月

主催 真宗高田派宗務院

〇五九・二三三・四一七一(代表)

後援 中日新聞社

一身田商工振興会

高田会館

みち

たかだ たろう

帰命

小三 高田 太郎

本願
他力

小六 高田 太郎

ほう

小一 高田 たろう

平等
覚

小四
高田 太郎

大行

小二 高田 太郎

不退
の位

小五 高田 太郎

広施功德宝

中一 高田 太郎

転悪成徳正智

中三 高田 太郎

不可思議功德

中二 高田 太郎

願以此功德 平等施一切
同発菩提心 往生安楽国

高田 太郎

南無阿弥陀仏をとなうれば 十方無量の諸佛は
百重千重圍繞して 喜びまもりたもうなり

高田 太郎